

### 第3 工業用水道事業について

#### 1 事業の概況

令和元年度においては、36事業所等に供給し、基本使用水量は、1日当たり2万7,740立方メートルで、施設能力1日3万7,150立方メートルに対し、74.7%となっています。また、基本使用水量の下期が509万5,401立方メートル、年間が1,015万2,972立方メートルで、前年度に比べてそれぞれ1.3%と0.7%の増加となっています。

一方、料金収入は下期が1億3,836万円、年間が2億6,957万円で、前年度に比べてそれぞれ6.0%と3.1%の増収となっています。

なお、基本使用水量及び料金収入は第9表のとおりです。

第9表 令和元年度基本使用水量及び料金収入(税込み)実績表

項 目	下 期	年 間	年間対前年比 (%)
基本使用水量 (m <sup>3</sup> )	5,095,401	10,152,972	100.7
特定使用水量 (m <sup>3</sup> )	130,000	130,000	3,561.6
超過使用水量 (m <sup>3</sup> )	2,375	4,520	350.7
給水量 (m <sup>3</sup> )	2,897,202	5,746,489	102.3
給水量 基本使用水量+特定使用水量 (%)	55.4	55.9	—
基本使用水量 施設の1日最大給水量 (%)	74.9	74.7	—
料金収入 (千円)	138,364	269,568	103.1

(注) 施設の1日最大給水量は37,150m<sup>3</sup>

## 2 令和2年度予算の概要

令和2年度予算は、経費の重点的かつ効率的な執行を図ることを主眼に編成しています。

収益的収支（税込み）においては、収入は料金収入2億6,631万円、長期前受金戻入5,031万円、その他収益10万円、合わせて3億1,672万円となっています。支出は給与費5,828万円、減価償却費1億4,043万円、その他経費1億562万円で、合わせて3億433万円となっています。

資本的収支（税込み）においては、収入は企業債6,400万円、支出は建設改良費1億1,597万円、企業債償還金3,592万円、他会計貸付金2億円、予備費50万円、合わせて3億5,239万円となっています。

令和2年度予算の実施計画は第10表のとおりであり、また収益的収支構成比較は第3図のとおりです。

第 10 表

## 令和 2 年度工業用水道事業会計予算実施計画（税込み）

1 収益の収入及び支出  
収 入

（単位 千円）

款	項	目	予 定 額	備 考	
1 工業用水道事業 収益	1 営業 収 益		316,718		
			266,311		
		1 給 水 収 益	266,310	給水料金	
		2 その他営業収益	1		
	2 営業 外 収 益			50,407	
		1 受 取 利 息		84	預金利息等
		2 長期前受金戻入		50,310	固定資産減価償却費のうち補助 金等相当額
3 雑 収 益			13		

## 支 出

（単位 千円）

款	項	目	予 定 額	備 考	
1 工業用水道事業 費用	1 営業 費 用		304,331		
			298,603		
		1 原水、浄水及び 送水費	134,677	(事業所職員給与費 38,132 事業所営業費 96,545)	
		2 総 係 費	23,493	(本庁職員給与費 20,146 本庁営業費 3,347)	
		3 減 価 償 却 費	140,432	固定資産減価償却費	
		4 資 産 減 耗 費	1		
	2 営業 外 費 用			5,227	
		1 支 払 利 息		627	企業債利息
		2 消費税及び地方 消費税		4,599	
		3 雑 支 出		1	
	3 特 別 損 失			1	
		1 過年度損益修正 損		1	
	4 予 備 費			500	
		1 予 備 費		500	

2 資本的収入及び支出  
収 入

(単位 千円)

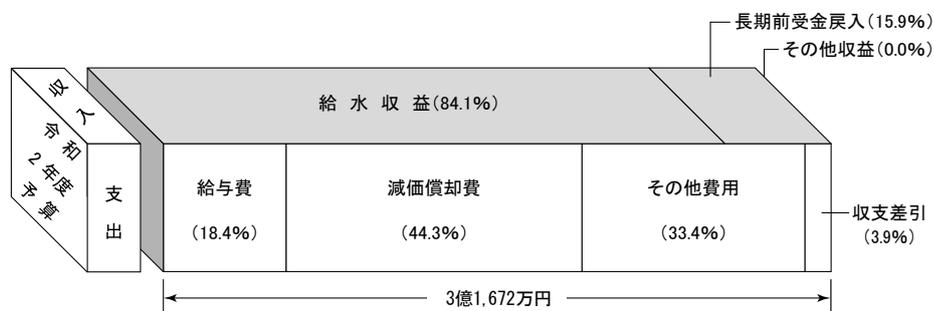
款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			64,001	
	1 企業債		64,000	
		1 企業債	64,000	
	2 固定資産売却代金		1	
		1 固定資産売却代金	1	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			352,388	
	1 建設改良費		115,970	
		1 工業用水道施設改良事業費	115,970	
		諸施設費	95,600	工事費
		総係費	20,370	委託費
	2 企業債償還金		35,918	
		1 企業債償還金	35,918	
	3 他会計貸付金		200,000	
		1 他会計貸付金	200,000	一般会計への貸付金
	4 予備費		500	
		1 予備費	500	

第 3 図 令和 2 年度工業用水道事業予算の収益的収支構成比較 (税込み)



### 3 令和元年度予算の経理状況

令和元年度予算の経理状況は、収益的収支（税込み）では、収入3億2,351万円、支出2億8,955万円で、予算に対する収入率は100.1%。支出率は96.4%となっています。

また、資本的収支（税込み）では、収入7,840万円、支出1億3,067万円で、予算に対する収入率は99.4%、支出率は85.2%となっています。

令和元年度予算の経理状況は、第11表のとおりです。

第11表 令和元年度工業用水道事業会計予算の経理状況（税込み）

1 収益的収支  
収入

（単位 千円）

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
工業用水道事業収益	319,471	3,612	323,083	323,513	100.1%	430
営業収益	264,279	4,851	269,130	269,569	100.2	439
営業外収益	55,192	△1,239	53,953	53,944	100.0	△9

支 出

（単位 千円）

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
工業用水道事業費用	298,715	1,670	300,385	289,550	96.4%	△10,835
営業費用	297,430	△3,123	294,307	284,133	96.5	△10,174
営業外費用	784	4,793	5,577	5,417	97.1	△160
特別損失	1	0	1	0	0	△1
予備費	500	0	500	0	0	△500

2 資本的収支  
取 入

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
資 本 的 取 入	136,001	△57,108	78,893	78,394	99.4%	△499
企 業 債	136,000	△79,000	57,000	57,000	100.0	0
固 定 資 産 売 却 代 金	1	0	1	0	0	△1
補 助 金	0	21,892	21,892	21,394	97.7	△498

支 出

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
資 本 的 支 出	306,365	△152,978	153,387	130,668	85.2%	△22,719
建 設 改 良 費	180,431	△51,257	129,174	106,956	82.8	△22,218
企 業 債 償 還 金	25,434	△1,721	23,713	23,712	100.0	△1
他 会 計 貸 付 金	100,000	△100,000	0	0	—	0
予 備 費	500	0	500	0	0	△500

#### 4 資産及び企業債の現在高

令和元年度末における資産総額は34億6,982万円で、その76.3%が固定資産となっています。  
また、企業債の現在高は2億3,730万円となっており、その明細は第12表のとおりです。

第12表

工業用水道事業企業債明細書

(単位 千円)

借 入 先	発行総額	償 還 高		未償還残高
		当期償還高	累 計	
政 府 資 金 (財務省財政融資資金)	20,000	1,059	15,415	4,585
地方公共団体金融機構	160,000	9,553	47,189	112,811
市 中 銀 行	141,000	13,100	21,100	119,900
計	321,000	23,712	83,704	237,296